

委員会調査(研修)報告書

NO.

令和 6年 4月 30日

胎内市議会議長

小野徳重様

(報告者) 総務文教常任委員会
委員長 坂上隆夫

総務文教常任委員会閉会中所管事務調査 について、
議会会議規則第110条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日時	自 令和 6年 4月 11日 至 令和 年 月 日 泊 日 (1日間)	調査・研修 場所	全員協議会室 ----- にこ楽・胎内 きのと交流館 ----- 築地農村環境改善センター ----- ふれすぽ胎内 B&G 海洋センタープール
調査・研修 事項	胎内市防災ガイドブック(改訂版)について ----- 胎内市の避難所および備蓄品の状況について ----- B&G 海洋センタープール上屋増築工事について -----		
調査・研修 出席者(参加者)	坂上隆夫 笥智也 丸山孝博 薄田智 天木義人 ----- 八幡元弘 森本将司 増子達也 -----		
相手方(対応者)	総務課：須貝課長 防災係：桐生主査 横山主任 ----- 生涯学習課：佐久間課長 桐生係長 南波主任 学校教育課：渡辺主任		

調査の結果または概要

1月に起きた能登半島地震を機に、市内の防災に関する一般質問等が多かったこともあり、防災に関する対応と避難所や備蓄品の状況を確認した。

全員協議会室にて、改訂版防災ガイドブックの変更点や更新されている箇所の説明を受け、豪雨災害時の避難所設定や、地震ハザードマップの危険度の標記についてなどで質疑があり回答を得た。その後各地域避難所の状況確認に赴き、備蓄品の在庫状況や入れ替えのタイミングなどについて説明を受け、避難所に新設された鍵ボックスの開錠実践を体験した。

昨年完了したB&G海洋センタープール上屋増築工事について、屋根部と横幕のシート開閉を確認し、プールサイドのマット敷など併せて改良された箇所の説明を受けた。委員からは対応年数について、コストについて等の質疑があり回答を受けた。

調査の所見・感想

近年頻繁に発生している多様な災害への対応について、改訂された防災ガイドブックが市報4月15日号と共に配布される直前の説明であったことで、委員から出た疑問点や不安要素を、同じように感じる市民がいることを想定した対応を今後期待する。

備蓄品の状況確認について、被災から概ね3日分という説明を受け対応可能と認識できた。ただ、委員からの質問にもあったが、避難所スペースについては限度があるため人員のキャパシティオーバー時の対応を考慮しておく必要性を感じた。

B&G海洋センタープールについては、小学校のプール授業でも利用されるとのことで、安全性が優先されたプールサイドなどよく配慮されていると感じた。また手動開閉式の屋根部と横幕のシートも対応年数が長く、コストパフォーマンスも良いと思われるので、今後のメンテナンス含めより良く活用されることを期待する。